

豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報

第 24 号 (2022 年度)



Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum
No.24(for the fiscal years of 2022)

はじめに

開館以来、モンゴル民族の文化・歴史・宗教などの常設展示、日本の文化や歴史、モンゴルに関連した企画展の開催、楽しみながら異文化を学ぶ体験型の博物館として様々な事業を展開し、モンゴル国を紹介してまいりました。

2022年度は、開館以来26年が過ぎ、新たな展開を模索し挑戦する年になりました。

新型コロナウイルス感染症は依然国内で猛威を振るい、第7派での感染者は過去最高の感染者数となりました。休館制限は受けなかったものの、事業の推進においては、教室への参加辞退など依然様々な影響を受けています。

モンゴル国との交流については、以前より交流のあったデムベレル氏とナラン学校のツェツェグ校長に、4年ぶりに来館いただくことができました。今後、モンゴルとの新たな交流を模索することをお互いに確認する機会となりました。

また、企画展を通して兵庫県立芸術文化観光専門職大学の学生と共に手づくりのファッションショーを実施することで、新たな地域連携事業を行うことができました。今後も地域とつながる様々な事業を展開していきたいと考えます。

あわせて今後も、子ども達の学習、文化振興の拠点となる日本・モンゴル民族博物館を目指して取り組んでいきます。

おわりに、本年度事業にご協力いただいた関係各位に深く感謝申し上げます。

2023年3月31日

日本・モンゴル民族博物館

館長 坂本 敦子



左から、デムベレル氏、ツェツェグ校長

目 次

| | | | | |
|-----|------------------|----|----|-------------------------------|
| I | 2022 年度概要 | 3 | 10 | 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例 |
| II | 展覧事業 | 3 | 11 | 施設概要 |
| | 1 常設展 | | 12 | 交通案内 |
| | 2 企画展 | | 13 | 利用案内 |
| III | 資料収集保存事業 | 15 | | |
| | 1 資料の貸出 | | | |
| | 2 資料の燻蒸 | | | |
| IV | 普及教育事業 | 15 | | |
| | 1 出前授業 | | | |
| | 2 来館受入授業 | | | |
| | 3 体験教室、講座の開催 | | | |
| | 4 イベントの開催 | | | |
| | 5 トライやる・ウィークの受入れ | | | |
| | 6 情報の発信と公開 | | | |
| | 7 その他 | | | |
| V | 国際交流事業 | 18 | | |
| | 1 モンゴル国との国際交流 | | | |
| VI | 管理運営 | 19 | | |
| | 1 組織・職員 | | | |
| | 2 予算の概要（決算額） | | | |
| | 3 利用状況 | | | |
| | 4 施設管理 | | | |
| | 5 博物館協力会 | | | |
| | 6 外部役員等就任状況 | | | |
| | 7 博物館ネットワーク | | | |
| | 8 博物館日誌抄 | | | |
| | 9 お客様の声（抜粋） | | | |

I 2022 年度概要

2022 年度においても上半期は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、休館には至らなかったものの、イベントへの参加辞退等もあり、博物館事業の推進に影響を受けた。

本年度の企画展は、4つの企画展を開催し通算で88回を数えることができた。

夏休み期間中は、企画展示室のみでなく、モンゴル関係の展示室、中庭などを使い一時期に2つの企画展を開催した。期間中は人気作家の企画展ということもあり、多くの来館者で賑わった。

また、一昨年度より兵庫県立芸術文化観光専門職大学の学生と何度も打ち合わせを重ね、日本とモンゴルの伝統衣装を対比させながら融合を図るファッションショーを開催することができた。ジェンダーレスというテーマも含め学生が自ら衣装を制作、出演し、博物館とともに演出を行った。当館としても地元大学生とのかかわりを持ち、事業を推進できたことは、新たな分野との連携を構築する良い機会となった。

教育活動においては、豊岡市内の全小学校で出前授業（一部来館授業）を実施することができ、コロナ禍前の状態に戻ってきた。

また、市外小学校からの来館授業もコロナ禍前の来館数とはならないものの、2月以降徐々に増加傾向に転じた。

モンパクグローバルクラブは、一定数の参加があり予定通り実施することができた。しかし、目的の一つでもあるモンゴル国とのつながりを求めた交流は、できていない。モンゴル国ナラン学校と引き続き、交流の方法や手立てを模索していきたい。

本年度も「まるごとモンゴルひなまつり」は、資母体育館を会場に、2日間にわたって開催した。市外への案内チラシの効果もあり、多くの参加者で賑わった。

今後も、文化施設としての役割はもとより、地域や専門職大学をはじめとした関係機関等との連携を図り、地域振興にも貢献できる博物館を目指し、職員一丸となって各事業の展開に努めていきたい。

II 展覧事業

1 常設展

(1) 常設展示の構成

博物館の常設展示は、A棟の「たんとうの森」、B棟の「アジアの歴史と風土・モンゴル草原のいのり」、C棟の「モンゴル草原の暮らしと文化」、伝承文化体験交流館の「豊岡市但東の歴史とくらし」から構成されている。

①たんとうの森・・・人工樹木を配し、平安時代前期の朽木仏像5体を展示

②アジアの歴史と風土・・・新石器時代から近代までの歴史資料を展示

- ③モンゴル草原のいのり・・・チベット仏教の寺院を再現し、仏像・仏具などを展示
- ④モンゴル草原の暮らしと文化・・・ゲルと呼ばれる移動式住居を中心に、衣・食・住など様々なテーマに分けて展示
- ⑤豊岡市但東の歴史とくらし・・・山里の暮らしと文化をテーマに、豊岡市但東町の歴史・住まい・暮らし・民話などを展示

(2) 常設展の更新

常設展については、部分的な展示替えにとどめている。

現在、収蔵品の調査を計画的に実施しており、すべての収蔵品の調査が終了した段階で、常設展の展示替えを検討したいと考えている。

(3) 屋外展示

- ① 騎馬像（チンギス・ハーン） 1 体及び馬像 2 体
- ② オボー（複製）
モンゴルで建てられる精霊の降りてくる目印で、しばしば道しるべや境界標識の役割を兼ねている
- ③ 赤坂古墳群第 1 号墳（復元）
豊岡市但東町畑 横穴式石室
- ④ 道路元標
資母村、高橋村各 1 基
- ⑤ 山羊小屋…屋外の小屋に山羊 1 頭を飼育、公開
- ⑥ 「環界・IV Φ300cm87」
御影石製彫刻 1988 年、豊岡市但東町畑山出身彫刻家、橋本清孝氏寄贈

(4) 展示解説の積極的な推進

展示資料をより深く理解いただくため、希望者には職員が館内展示の案内・説明を行っている。利用者の興味や目的に沿った分かりやすい解説を心がけている。

(5) 体験型博物館の取組み

楽しみながら学べる体験型の施設を目指し、ゲルとその内部に遊牧民の生活空間を再現し、民族衣装の試着、馬頭琴の演奏体験、また夏休み期間には、ものづくり教室、ハーバリウム教室、羊のマスコットづくり教室なども開催している。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、民族衣装の試着については、現在中止している。

また、企画展に関連したものづくり等のワークショップを年間複数回開催し、子どもを中心に市内外から多くの参加がある。

2 企画展

(1) 第85回企画展 「渡辺うめ人形の世界～過ぎし日の但馬の暮らし～」

会期：2022年4月24日～7月5日 75日間（見学者数 1,453人）

渡辺うめ氏は、昭和50年代から人形制作に取り組み、但馬の農村に生きる人々の姿を再現した作品は160点以上にのぼる。高度経済成長期以前の但馬地域の農村の暮らしを伝える人形としても貴重な作品となる。

また、今回は、うめ氏が作品から語りたかった想いを「母と子どもたち」のコーナーを設けて表すとともに、書を通して表現する試みも併せて行った。



「木ぐま」



「麦ふみ」



「唐箕(子ども)」

「僕の役目」

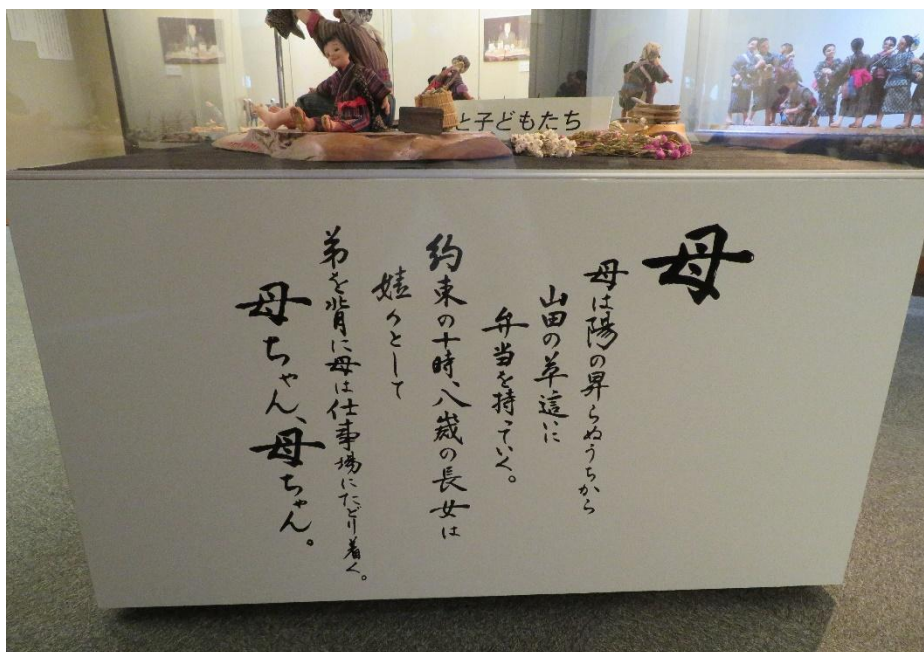




「家族」



母と子どもたち



奈良教育大学書道教育専修
2回生 栗垣実咲さん書

(2) 第 86 回企画展 「モンゴルの星・風をまとう～公文知洋子の世界から～」

会期：2022年7月10日～11月8日 105日間（見学者数 4,725人）

役目を終えた木綿の古着を裂いて緯糸とし、麻を経糸として織った裂織の作家公文知洋子氏の作品展を開催した。

裂織は、糸では表現できない微妙な色合いと温かな風合い、そして重量感ある布が魅力となっている。今回の企画展では、モンゴルの星のきらめき、モンゴルの風をイメージした作品を始め、軽やかで繊細かつ柔らかな透明感ある布への挑戦も果たした作品を紹介した。



掛け軸「玄」

ストールをまとう
朽木仏像





シルクの裂織新作
「シルクロードを想う」



初期作品の裂織



「モンゴルの風」を表現

(3) 公文知洋子の世界「モンゴルの星・風をまとう」

モンゴルと日本の伝統衣装×ファッションショー

日時：2022年9月19日（日）

今回、リサイクル芸術という言葉キーワードに、モンゴルの「デール」と日本の「振袖」それぞれの伝統衣装の対比と融合、また「ジェンダーレス」というテーマも含めたファッションショーを開催した。

公文千洋子氏の裂織作品を羽織り、まとい、モンゴルの風が吹き抜けるようなランウエイなどを演出した手づくりのファッションショー。

また、ちりめん浴衣を用いた衣装のデザイン制作は、兵庫県立芸術文化観光専門職大学の学生が担い、「振袖デール」等のデザイン制作は、河邊亜由子氏に依頼した。ファッションショーの演出は、学生と博物館で行った。



モンゴルのデールを羽織る（左）



着物のリメイク作品に裂織をまとう
（左、上）





ちりめん浴衣をアレンジ
(上、左)

河邊亜由子氏制作の
振袖デール (右、下)



(4) 第 87 回企画展「リト@葉っぱ切り絵展～緑の芝生と蒼い空にかざして見えるもの～」

会期：2022年7月24日～8月30日 33日間（見学者数 3,340人）

葉っぱの切り絵作品で多くの注目を集めている葉っぱ切り絵アーティストトリト氏の作品展。

一枚の葉っぱに、繊細で緻密な優しいメルヘンの世界が広がる。見る人に夢を与える企画展。短期間で多くの観覧者で賑わった。

「リト@葉っぱ切り絵展」展示風景



「新しい年もどうかよろしくね！」



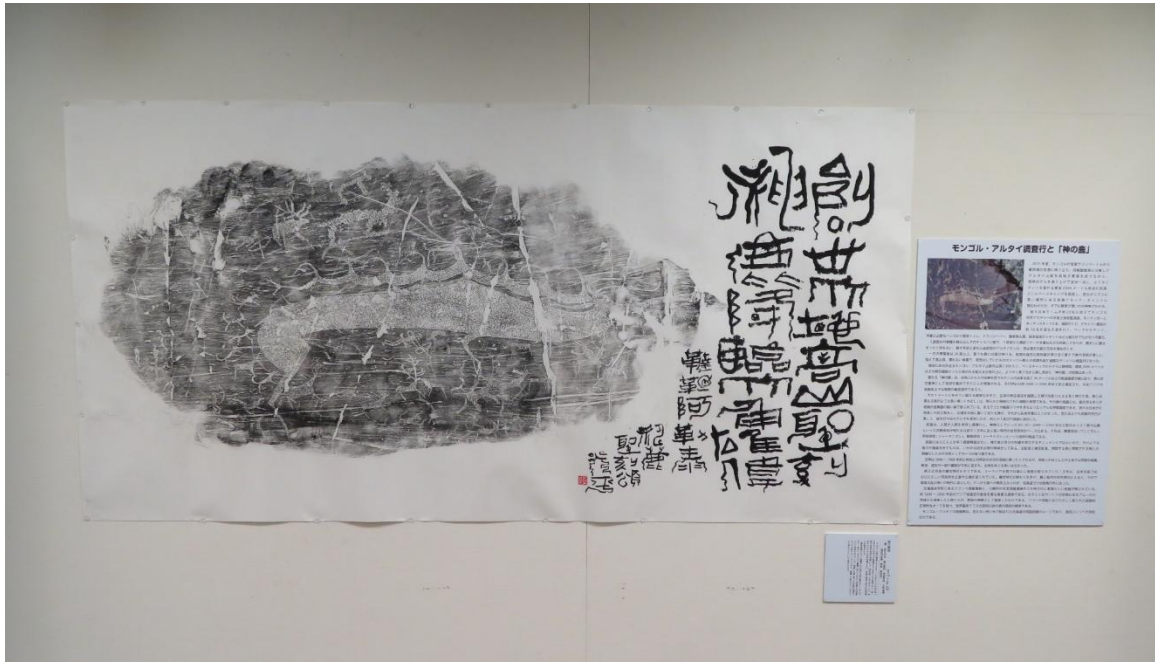
「ぼくらの夏祭り」



(5) 第88回企画展「古代モンゴル『岩画』1万年の世界～漢字のルーツと原初の美を求めて～」

会期：2022年11月13日～4月18日130日間（見学者数2,302人）

モンゴル西部のアルタイ山脈や南部のゴビ砂漠には、1万年以上前から人類が岩石に刻んだ「岩画」が多数存在し、世界遺産に登録されている。古代岩画の拓本から漢字の成り立ちを探るとともに、古代の人々の世界観や自然に対する想いを探る企画展



神の鹿図

展示風景



2023年3月12日ギャラリートーク

「岡本光平氏による展示説明と岩画の拓本採りの実演」



Ⅲ 資料収集保存事業

当館の所蔵資料は、故金津匡伸氏から寄贈を受けたモンゴル国の資料やアジアの考古資料を中心に、旧但東町民俗資料館が収集保管してきた資料、またモンゴル国内や日本各地からの寄贈、寄託及び購入したもので構成されている。

平成 26 年度より進めてきたモンゴル関係資料の台帳の電子化整備及び資料の整理は、平成 30 年度でほぼ完了した。

令和元年度にモンゴル国立科学技術大学のラグワスレン教授を招いて、宗教関連分野の資料調査に着手し、以降 4 年間で約 550 点の調査を予定していたが、新型コロナウイルス感染症により、モンゴル国との往来ができなくなり中断していた。そのような時、2022 年 10 月にラグワスレン教授逝去の報を受け、今後の調査継続について検討した結果、国立民族博物館島村一平教授の協力のもと調査を継続することが可能となった。

1 資料の貸出

【団体】

- | | |
|----------------|-----------------|
| ① 京都府福知山市立三和学園 | デール他 2 点 |
| ② 高橋地区コミュニティ | 養蚕用具他 3 点 |
| ③ 豊岡市立歴史博物館 | 櫛、かんざし他女性用装飾品一式 |

2 資料の燻蒸

全館にピレスロイド系殺虫剤の空中散布および有機リン系殺虫剤の乳剤噴霧を年 2 回実施した。また、収蔵庫（3 ヲ所）内には年 3 回有機リン系殺虫剤の蒸散剤を設置して殺虫・防虫処理を実施した。なお、全館の害虫・ネズミの点検については、毎月実施している。

委託先：クリーン(有)本店

Ⅳ 普及教育事業

1 出前授業

学校からの依頼に応じて、授業に職員を派遣する出前授業を平成 12 年度から実施している。授業では当館資料を活用して、児童・生徒のモンゴルへの理解が深まるよう努めている。出前授業は、市内の小学校に限定して実施している。

本年度は、新型コロナウイルス感染症による第 8 波のピークを過ぎたことなどから、市内全小学校での出前授業、来館授業を実施することができた。

また、県外からの来館授業についても徐々に増えているが、コロナ禍前の状態には戻っていない。

(1) 小学校

| 番号 | 月 日 | 学 校 名 | 学年 | 人数 | 内 容 |
|----|--------|------------|------|----|----------------|
| 1 | 10月6日 | 豊岡市立静修小学校 | 2年 | 8 | モンゴルって どんな国 |
| 2 | 12月6日 | 豊岡市立清滝小学校 | 2年 | 13 | |
| 3 | 12月9日 | 豊岡市立城崎小学校 | 2年 | 25 | |
| 4 | 12月22日 | 豊岡市立港小学校 | 2年 | 6 | |
| 5 | 1月17日 | 豊岡市立新田小学校 | 2年 | 29 | |
| 6 | 1月20日 | 豊岡市立三江小学校 | 2年 | 16 | |
| 7 | 1月23日 | 豊岡市立三方小学校 | 2年 | 16 | |
| 8 | 1月24日 | 豊岡市立寺坂小学校 | 2年 | 5 | |
| 9 | 1月26日 | 豊岡市立五荘小学校 | 2年 | 56 | |
| 10 | 1月27日 | 豊岡市立五荘小学校 | 2年 | 56 | |
| 11 | 1月30日 | 豊岡市立田鶴野小学校 | 2年 | 23 | |
| 12 | 1月31日 | 豊岡市立竹野小学校 | 2年 | 27 | |
| 13 | 2月2日 | 豊岡市立福住小学校 | 2年 | 6 | |
| 14 | 2月3日 | 豊岡市立弘道小学校 | 2年 | 29 | |
| 15 | 2月6日 | 豊岡市立小坂小学校 | 2年 | 11 | |
| 16 | 2月7日 | 豊岡市立八代小学校 | 1・2年 | 3 | |
| 17 | 2月9日 | 豊岡市立中筋小学校 | 2年 | 10 | |
| 18 | 2月10日 | 豊岡市立日高小学校 | 2年 | 45 | |
| 19 | 2月13日 | 豊岡市立豊岡小学校 | 2年 | 57 | |
| 20 | 2月14日 | 豊岡市立神美小学校 | 2年 | 22 | |
| 21 | 2月16日 | 豊岡市立高橋小学校 | 1・2年 | 5 | |
| 22 | 2月21日 | 豊岡市立府中小学校 | 2年 | 27 | |
| 23 | 2月24日 | 豊岡市立八条小学校 | 2年 | 56 | |
| 24 | 2月27日 | 豊岡市立小野小学校 | 2年 | 10 | |

計 24 校 561 名

2 来館受入授業

(1) 小中学校・幼稚園

| 番号 | 月 日 | 学 校 名 | 学年 | 人数 | 内 容 |
|----|--------|-------------|----|----|----------------|
| 1 | 11月18日 | 豊岡市立資母小学校 | 2年 | 11 | 博物館の仕事 |
| 2 | 1月30日 | 京丹後市立橘小学校 | 2年 | 15 | モンゴルって どんな国 |
| 3 | 2月9日 | 京丹後市立高龍小学校 | 2年 | 18 | |
| 4 | 2月14日 | 京丹後市立吉野小学校 | 2年 | 6 | |
| 5 | 2月16日 | 京丹後市立久美浜小学校 | 2年 | 19 | |
| 6 | 2月21日 | 京丹後市立新山小学校 | 2年 | 34 | |
| 7 | 2月27日 | 京丹後市立長岡小学校 | 2年 | 9 | |
| 8 | 2月28日 | 豊岡市立資母小学校 | 2年 | 10 | |

| | | | | | |
|----|-------|------------|----|----|--------|
| 9 | 3月7日 | 豊岡市立合橋小学校 | 2年 | 5 | モンゴルって |
| 10 | 3月10日 | 京丹後市立甲山小学校 | 2年 | 24 | どんな国 |

計 10 校 151 名

3 体験教室・講座の開催

(1) 体験教室

| 教室名 | 実施回数 | 参加人数 | 備考 |
|-------------|------|------|---------------|
| フラワーバリエウム教室 | 4 | 22 | 通年 |
| モザイク教室 | 1 | 5 | 夏休み教室 |
| ハーバリウム教室 | 1 | 12 | |
| 羊のマスコット教室 | 1 | 2 | |
| 羊の毛を織る | 3 | 10 | |
| モザイク教室 | 1 | 7 | |
| 裂織ワイヤーアート教室 | 2 | 8 | 企画展関連ワークショップ |
| 葉っぱ切り絵教室 | 1 | 18 | |
| 羊のマスコット | 2 | 74 | まるごとモンゴルひなまつり |
| ハーバリウム | 2 | 30 | |
| 計 | 18 | 188 | |

4 イベントの開催

(1) まるごとモンゴルひなまつり 2023年3月4日(土)、5日(日)

新型コロナウイルス感染対策の観点から、イベント会場を資母体育館とし、人数制限を行い2日間開催した。

5 トライやる・ウィークの受入れ

但東中学校より2名の希望者があり受け入れを行った。



6 情報の発信と公開

展示の様子やワークショップの活動状況などをリアルタイムに発信していくことは、博物館の認知度を上げ、入館者の増につながる重要な活動といえる。今後も、博物館のさまざまな情報を市広報や各種メディア、SNS等を通して、積極的に発信するよう努めていく。

(1) 全市的情報発信

市全体の文化芸術活動の情報発信ツールとして「Toyooka Art Season」総合パンフレットを春夏期、秋冬期の2期に発行し、その中で博物館の活動を広報している。

(2) 企画展チラシ等の配布

市内の各小学校、地区コミュニティセンター、振興局、県博物館美術館協会加入の博物館美術館、道の駅、近隣市町及び報道機関などに配布する。

(3) 各種報道メディアへの情報発信

企画展、ワークショップ等の実施に合わせ、各種報道メディアへ情報提供を行う。

(4) インターネット等による情報発信

リアルタイムの情報を発信するツールとして、インターネットやSNSなどの活用が特に重要となっている。

市や自館のホームページ、フェイスブック、インスタグラムで情報発信を積極的に行っている。

SNSの更新は、催し物案内だけでなく、様々な情報や話題を随時取り上げ発信するよう努めている。

(5) フリーペーパーへの掲載

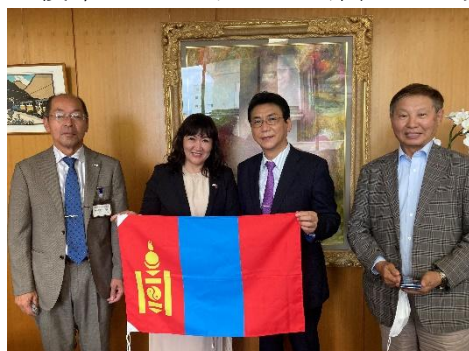
昨年引き続き、フリーペーパーへの掲載依頼を行っている。掲載されたことにより、近隣市町からの入館者の増加につながったと思われる。

今後も、引き続き様々なフリーペーパーの活用を図っていきたい。

V 国際交流事業

1 モンゴル国との国際交流

以前より親交のあったデムベレル氏とナラン学校のツェツェグ校長が2018年以来4年ぶりに来館され、市長を表敬訪問された。今回の来豊では、新たな交流をお互いに模索していくことを確認しあうことができた。



左から、土生田副市長、ツェツェグ校長、
関貫市長、デムベレル氏

モンゴル国との受入派遣交流に代る新たな取り組みとして、モンゴルの文化と日本の文化を対比しながら、五感を使って様々な博物館活動を体験することを目的としたモンパクグローバルクラブの活動は3年目となった。

(1) モンパクグローバルクラブ

参加数 6家族 14人 活動回数 6回



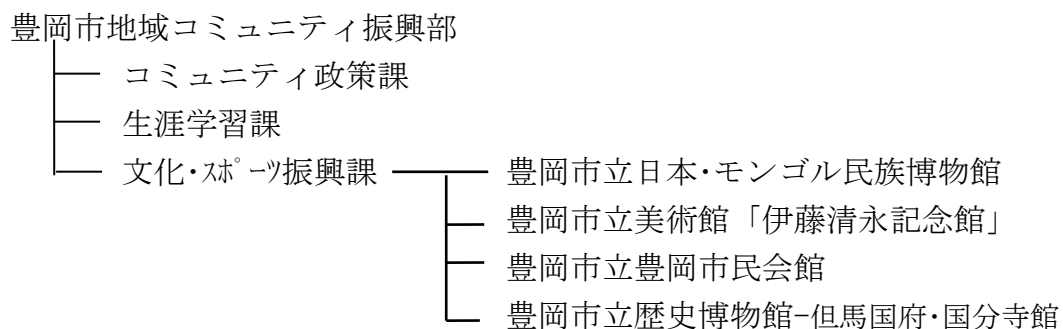
(2) 草原の風 モンゴル祭り 大阪 2022 (モンゴル秋祭り)

今年度は、資母の宝まつりの日程と重なり出展していない。

VI 管理運営

1 組織・職員 (2023年3月31日現在)

(1) 組織



(2) 職員

館長 坂本 敦子 (2019年4月～)

(会計年度任用職員)

主幹 宮谷 一弘 (2022年4月～)

会計年度任用職員(学芸員) 朝倉 由美 (2013年4月～)

会計年度任用職員(学芸員) 伊崎 文彦 (2015年4月～)

会計年度任用職員(管理員) 柴田 明子 (2001年4月～)

会計年度任用職員(事務補助) 渡利 友理 (2022年4月～)

2 予算の概要 (決算額) 単位:千円

[人件費] 22,033

- ① 報酬 9,309
- ② 給与 4,435
- ③ 職員手当等 4,952 (扶養手当 78、通勤手当 1,007、時間外勤務手当 342
期末手当 2,713、勤勉手当 812)
- ④ 共済費 3,337

[管理費] 11,450

- ① 旅費 8 (普通旅費 8)
- ② 需用費 5,260 (消耗品費 288、燃料費 97、光熱水費 3,888、修繕料 963、
飼料費 24)
- ③ 役務費 568 (通信運搬費 324、手数料 184、保険料等 60)
- ④ 委託料 1,414 (電気保安点検 219、自動ドア点検 59、消防施設点検 37、
芝生管理 110、清掃管理 292、警備 264、電気使用料監視 55、
資料燻蒸 110、除雪 169、キャッシュレス決済 99)
- ⑤ 使用料 491 (自動車借上料 340、土地借上料 12、機器借上料 29、
用品借上料 59、テレビ視聴料 3、通行料 44、駐車料 4)
- ⑥ 工事請負費 3,685 (トイレ補修工事 3,685)
- ⑦ 備品購入費 14 (事業用備品 14)
- ⑧ 負担金 10 (兵庫県博物館協会負担金 10)

[事業費] 3,217

- ① 報償費 1,125 (講師謝礼 1,125)
- ② 旅費 148 (普通旅費 148)
- ③ 需用費 1,364 (消耗品費 1,043、燃料費 13、食糧費 42、印刷製本費 266)
- ④ 役務費 504 (通信運搬費 450、手数料 21、保険料 33)
- ⑤ 使用料 76 (機器借上料 52、用品借上料 24)

3 入館者状況

入館者は、2023年3月末で、開館以来延べ477,908人となった。2022年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあったが開館日数は302日、入館者数8,488人(前年比12.8%増)と年4回の企画展で前年を上回った。今後も、企画展のワークショップの開催や夏休み教室を充実させるなど、博物館活動の積極的な推進を図るとともに、さまざまな情報発信による集客に努めていく必要がある。

【2019年度(令和元年度)(開館日:311日)】

| 区分 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|--------|
| 協力会 | 28 | 41 | 36 | 22 | 32 | 105 | 34 | 37 | 28 | 37 | 22 | 31 | 453 |
| 一般 | 436 | 331 | 145 | 196 | 213 | 197 | 179 | 156 | 92 | 157 | 202 | 149 | 2,453 |
| 高、大 | 11 | 9 | 0 | 3 | 12 | 4 | 1 | 1 | 5 | 5 | 16 | 23 | 90 |
| 小、中 | 43 | 43 | 3 | 14 | 40 | 9 | 5 | 6 | 5 | 9 | 31 | 30 | 238 |
| その他 | 2,652 | 311 | 260 | 232 | 322 | 295 | 245 | 1,094 | 79 | 593 | 655 | 243 | 7,010 |
| 計 | 3,170 | 735 | 444 | 467 | 619 | 610 | 464 | 1,294 | 238 | 801 | 926 | 476 | 10,244 |
| 1日平均 | 109 | 27 | 17 | 17 | 22 | 23 | 17 | 49 | 10 | 34 | 37 | 17 | 32 |

【2020年度(令和2年度)(開館日:270日)】

| 区分 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 協力会 | 8 | 6 | 8 | 17 | 7 | 10 | 10 | 12 | 18 | 5 | 3 | 10 | 114 |
| 一般 | 11 | 36 | 117 | 190 | 203 | 189 | 161 | 178 | 103 | 46 | 254 | 355 | 1,843 |
| 高、大 | 0 | 0 | 0 | 15 | 37 | 3 | 3 | 3 | 3 | 0 | 4 | 16 | 84 |
| 小、中 | 5 | 4 | 14 | 39 | 64 | 22 | 12 | 15 | 6 | 7 | 107 | 146 | 441 |
| その他 | 75 | 47 | 160 | 284 | 188 | 147 | 214 | 142 | 135 | 274 | 482 | 333 | 2,481 |
| 計 | 99 | 93 | 299 | 545 | 499 | 371 | 400 | 350 | 265 | 332 | 850 | 860 | 4,963 |
| 1日平均 | 16 | 7 | 11 | 20 | 18 | 14 | 15 | 13 | 11 | 14 | 35 | 33 | 18 |

【2021年度(令和3年度)(開館日:291日)】

| 区分 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|------|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-------|-----|-----|-------|
| 協力会 | 5 | 4 | 4 | 8 | 2 | 7 | 6 | 4 | 3 | 1 | 3 | 0 | 47 |
| 一般 | 189 | 65 | 73 | 141 | 295 | 104 | 289 | 1,077 | 446 | 1,439 | 176 | 412 | 4,706 |
| 高、大 | 1 | 1 | 2 | 2 | 9 | 3 | 10 | 15 | 15 | 21 | 1 | 7 | 87 |
| 小、中 | 19 | 7 | 9 | 33 | 67 | 9 | 31 | 70 | 15 | 97 | 33 | 167 | 557 |
| その他 | 58 | 21 | 122 | 126 | 145 | 91 | 198 | 363 | 245 | 410 | 94 | 255 | 2,128 |
| 計 | 272 | 98 | 210 | 310 | 518 | 214 | 534 | 1,529 | 724 | 1,968 | 307 | 841 | 7,525 |
| 1日平均 | 12 | 6 | 8 | 12 | 19 | 9 | 23 | 59 | 32 | 75 | 14 | 33 | 26 |

【2022年度（令和4年度）（開館日：302日）】

| 区分 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 一般 | 318 | 458 | 348 | 550 | 2,097 | 164 | 178 | 238 | 111 | 73 | 233 | 421 | 5,189 |
| 高、大 | 7 | 5 | 3 | 19 | 69 | 10 | 3 | 3 | 2 | 1 | 4 | 8 | 134 |
| 小、中 | 32 | 41 | 7 | 52 | 154 | 10 | 4 | 0 | 10 | 9 | 35 | 111 | 465 |
| その他 | 209 | 176 | 147 | 168 | 485 | 185 | 222 | 466 | 112 | 66 | 195 | 269 | 269 |
| 計 | 566 | 680 | 505 | 789 | 2,805 | 369 | 407 | 707 | 235 | 149 | 467 | 809 | 8,488 |
| 1日平均 | 22 | 25 | 20 | 33 | 108 | 14 | 15 | 31 | 10 | 6 | 19 | 31 | 28 |

4 施設管理

(1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理は、豊岡市シルバー人材センター、ワークホーム大地に年間3回委託し実施した。シルバー人材センターは、毎年ボランティア活動として、博物館周辺の除草作業を行っていただいている。

また、委託分のみでは十分でないため、当館職員も随時、除草作業を行っている。

5 博物館協力会

博物館協力会は、当館が位置する旧資母小学校区(5区)住民の呼びかけで、博物館の運営に協力することを目的として平成9年2月10日に発足した。会長は、博物館が位置している如布区長がこれにあたり、周辺地域の区長・役員や各団体の長が理事となっている。加えて、但東地域居住の市議会議員及び協力会元会長が顧問となる役員構成になっている。

(1) 役員

会長 宮垣 弘司

副会長 2名 理事 10名 顧問 4名

任期：2022年4月1日～2023年3月31日

(2) 活動内容

① 役員会の開催

2022年6月9日に役員会を開催し、博物館の事業報告・事業計画の説明と運営に対しての協力依頼を行った。

② 山羊小屋柵修繕

山羊小屋の柵が老朽化し、壊れている箇所も多くあるため、協力会が中心となり、「さつきちゃん募金」を募集し、その費用で柵の修繕を実施した。

6 外部役員等就任状況

但馬地域博物館連絡会 会長

資母地区コミュニティ 役員

7 博物館ネットワーク

(1) 兵庫県博物館協会

兵庫県内の博物館・美術館・資料館で構成され、県立歴史博物館が事務局館を務めている。

- ・2022年6月3日（金） 兵庫県博物館協会 （オンライン開催）
- ・2022年6月3日（金） 研修会
「これからの博物館—博物館法改正について」 （オンライン開催）
- ・2023年2月22日（水） 研修会
「ひととはくにおける植物標本デジタル画像化とその活用について」
（オンライン開催）
- ・協会ホームページで夏休み子ども向けイベントの紹介
- ・協会ホームページで展覧会案内情報更新
- ・協会ホームページの更新
- ・2022年度兵庫県博物館ガイドの作成、配布

(2) 但馬地域博物館連絡会

兵庫県北部に位置している但馬管内の博物館施設が、相互協力して博物館活動の振興を図るため、1997年（平成9年）4月25日に設立され、2023年3月末現在では17館が加盟しており、当館は1997年4月に加盟している。

2021年度及び2022年度は、輪番で会長に就任している。

- ・2022年5月20日 役員会
- ・2022年6月17日 総会
- ・2022年10月28日 研修会「植村直己冒険館の新たな挑戦」

8 博物館日誌抄

2022年度の主な出来事を日報から抜粋して記載する。

- 4月1日 第84回企画展「地元作家を偲んで～松尾隆が描いた富士の山～」前年度から継続開催（～4/19）
土居工作所より屋外展示モニュメントの展示銘板を寄贈
- 4月15日 チューリップまつり開会
- 4月18日 La Festa Primavera(クラシックカー公道ラリー) 博物館立ち寄り
- 4月24日 第85回企画展「渡辺うめ人形の世界～過ぎし日の但馬のくらし～」
- 4月26日 但馬地域博物館連絡会監査
- 5月1日 企画展ギャラリートーク（2名）
- 5月20日 但馬博物館連絡会役員会
- 5月21日 ハーバリウム教室
- 5月24日 国立民族学博物館へ研修（大阪 職員2名）
- 5月29日 ギャラリートーク（2名）
- 5月30日 トライやるウイーク受入（2名）
- 6月3日 がっせえアート作家の集い（職員1名参加）

- 6月5日 寺坂小学校2年学Pモザイク画教室
- 6月9日 博物館協力会役員会
- 6月10日 博物館協力会「さつきちゃん募金」スタート
- 6月17日 但馬博物館総会（資母地区コミュニティセンターにて）
- 6月19日 モンパクグローバルクラブ・ギャラリートーク
- 6月25日 ハーバリウム教室（高橋地区コミュニティセンターへ出張）
- 6月28日 専門職大学ドイツ人講師来館
- 7月10日 公文先生企画展スタート、インスレーション参加（15名）
- 7月16日 夏休み教室（モザイク）（5名）
夏休み教室（羊のマスコット）（2名）
- 7月17日 羊の毛でコースターを作ろう（2名）
- 7月18日 モンパクグローバルクラブ（ゲルを建てよう）（12名）
- 7月20日 シルバー人材センターボランティア草刈
- 7月23日 アート縁日（市民プラザにおいて）
裂織ワークショップ（3名）
- 7月24日 リト@葉っぱ切り絵展スタート
裂織ワイヤーアート（5名）
- 7月26日 先生のトライやる受入（2名）
- 7月30日 葉っぱ切り絵教室2回（18名）
- 7月31日 羊の毛でコースターを作ろう（5名）
- 8月6日 羊の毛でコースターを作ろう（3名）
- 8月20日 モンパクグローバルクラブ in モンゴル博物館（7名）あさご芸術の森（6名）
- 8月21日 モンパクグローバルクラブ in あさご芸術の森（職員2名随行）
- 8月30日 リト@葉っぱ切り絵展終了
- 9月1日 広島県福山市盈進中学校3年生ズーム授業
- 9月19日 ファッションショー（入館者及び関係者 約50名）
- 10月11日 モンゴル国よりデムベレル氏、ツェツェグ校長来館
- 10月12日～13日 デムベレル氏、ツェツェグ校長、市長、但東振興局長他
表敬訪問
- 10月14日 与謝野町「旧尾藤家」見学（与謝野町 職員2名）
- 10月15日 モンパクグローバルクラブ（4名参加）
- 10月28日 但馬博物館連絡会研修会（植村直己冒険館）（職員3名）
- 10月28日 空調修繕（大石建設設備）
- 11月2日 トイレ改修工事着手
- 11月6日 しぼ・モンゴル宝まつり（関西文化の日）
- 11月13日 第88回企画展スタート
- 11月27日 ギャラリートーク（15名）
- 11月28日 トイレ工事完了検査
- 12月3日 山羊小屋柵撤収（博物館協力会8名）
- 12月4日 山羊小屋柵建設（博物館協力会11名）

- 12月6日 消防訓練実施
- 12月25日 モンパクグローバルクラブ（6名）
- 1月21日 ハーバリウム教室（3名）
- 2月12日 福住コミュニティ出前講座（約20名）
- 2月20日 豊岡市立博物館等連絡会（市立歴史博物館にて）
- 2月23日 資母地区コミュニティ研修会（職員1名参加）
- 3月4日～5日 まるごとモンゴルひなまつり
- 3月12日 岡本光平氏ギャラリートーク（47名）
- 3月19日 モンパクグローバルクラブ（8名）
- 3月21日 但馬博物館連絡会監査（伊藤清永記念館にて）
- 3月23日 但馬博物館連絡会監査、引き継ぎ（養父市、香美町にて）

9 お客様の声（抜粋）

以下は、2022年度の来館者の声を抜粋したもので、博物館職員として真摯に受け止め、今後の運営に活かしたいと考えている。

◎5月4日 京都府福知山市（10歳未満 男児）

スーホの白い馬が画面で見れてよかった。次はタヌキの糸車が見たいです。

◎5月6日 京都市（50代 女性）

家族で楽しめました。

◎5月15日 京都府与謝野町（10代 女性）

沢山の展示物があり良かったです。

◎5月17日 豊岡市（70代 女性）

うめさんの企画展を見に来ました。あっという間に2時間が過ぎていました。楽しいコーナーがあり味わい尽くしました。どのコーナーにも「～してはいけない」の文字が見えずおもてなしムードいっぱいでした。

◎6月25日 姫路市（20代 女性）

本当に楽しかったです。モンゴルについて触れる機会が少なかったため貴重な体験ができました。スーホの白い馬は小学生の時を思い出しました。大人になってから見るとまた違った観点から見ることができました。

◎7月10日 京都府宮津市（10代 男児）

馬頭琴という日本にはない楽器を体験させてもらう貴重な体験をさせてもらって嬉しかったです。

◎10月30日 京都府京丹後市（20代 女性）

盛りだくさんだったのでまたゆっくり見に来ます。

◎11月15日 大阪府大阪市（50代 男性）

資料や展示のボリュームが多くあり驚きました。見ごたえがとてもありました。また、体験できる展示（ゲル）もあるのでとても興味深く学ぶことができました。

◎11月28日 兵庫県宝塚市（60代 女性）

せっかく面白い展示があるのに、一般に知られていないのが残念です。

- ◎11月28日 兵庫県宝塚市（70代 男性）
展示方法に改善の余地を感じず。もう少し全体を体系的に整理する方が better では？
- ◎12月5日 大阪府大阪市（70代 男性）
予想以上の素晴らしい展示物でした。
- ◎12月5日 大阪府高槻市（60代 女性）
寒かったです。モンゴルの生活等知れてよかったです。
- ◎12月8日 京都府久世郡（60代 女性）
道の駅加悦で教えていただきました。その時は、臨時休館でしたので、再度挑戦してきました。モンゴルには数年前に行きましたので、懐かしく拝見しました。
- ◎12月8日 京都府久世郡（70代 男性）
以前モンゴルでゲルに泊まった時、羊を解体して肉を食べさせてもらったことを思い出しました。同じアジアの国として、これからも仲良くあってほしいと思います。
- ◎2月7日 京都府京丹後市（40代 男性）
子どもの頃に来て以来です。当時の記憶はほとんどありませんが、妻を連れて久しぶりに来てみました。平日の午後でゆっくりと観覧できました。施設もとてもきれいで良かったです。
- ◎2月23日 兵庫県豊岡市（10未満 女兒）
モンゴルのことで、私が知らなかったことを博物館で学びました。
- ◎3月20日 大阪府大阪市（40代 女性）
大阪の民博と変わらないのでは残念なので、是非ともモンゴルまみれの突き抜けた展示にしてもらえればなおいいです。
- ◎3月21日 兵庫県神戸市（10代 女子）
馬頭琴を弾くことができ、デールも着用できたので嬉しかったです。
- ◎3月26日 兵庫県豊岡市（20代 女性）
展示物の中に説明書きがないものがありました。また、解説が少なく何に使用されていたか具体的に分かりづらいものがあったので改善された方がよいと思いました。

10. 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の設置及び 管理に関する条例

平成17年4月1日
条例第179号

改正 平成19年12月26日条例第66号
平成26年3月28日条例第8号
平成27年3月27日条例第14号
令和元年12月25日条例第26号

(設置)

第1条 市民文化を振興し、文化活動の拠点とするとともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るため、豊岡市立日本・モンゴル民族博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 博物館の位置は、豊岡市但東町中山711番地とする。
(事業)

第3条 博物館は、第1条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館の資料の収集、保管及び利用に関すること。
- (2) 博物館の資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (3) 博物館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。
- (5) 博物館の資料に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (6) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (7) 郷土の生活文化の紹介及び体験交流に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

2 市長は、博物館の施設を、前項の事業の実施に支障のない限りにおいて、その目的以外の目的のために使用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、館長その他職員を置く。

(観覧料)

第5条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、市長の許可を受け、1点1回につき2,000円の範囲内で規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(使用の許可)

第7条 別表第2に掲げる施設を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の許可に博物館の管理上必要な条件を付

し、又はこれを変更することができる。

(許可の基準)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の許可をしてはならない。

- (1) 博物館の施設の使用が公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設の使用が博物館の建物、器具、備品等（以下「建物等」という。）を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団その他反社会的団体又はそれらの構成員が使用するおそれがあると認めるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長がその使用を不適當であると認めるとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上支障があると認めるときは、前条第1項の許可をしないことができる。
(使用権の譲渡等の禁止)

第9条 第7条第1項の規定により施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第10条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は施設の使用の制限をし、若しくは使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 使用者が許可された使用目的以外の目的に施設を使用したとき。
- (3) 使用者が許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 使用者が詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。
- (5) 第8条第1項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたときは、使用者に対し、前項に規定する処分をすることができる。

(使用料の徴収)

第11条 市長は、第7条第1項の許可を受けてする施設の使用につき、使用者から、別表第2に定める使用料を徴収する。

(観覧料等の減免)

第12条 市長は、公益上特に必要があると認めるときは、申請により、観覧料、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第13条 既に納めた観覧料等は、還付しない。ただし、第10条第2項の規定により市長が博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたとして同条第1項に規定する処分をしたとき、その他市長が特別の理由があると認

めるときは、申請により、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限等)

第14条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、博物館への入館を拒絶し、又は博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物品若しくは動物の類を携帯する者
- (3) 建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上必要な指示に従わない者

(行為の禁止)

第15条 何人も、博物館内において、博物館の管理上支障がある行為をしてはならない。

(原状回復の義務)

第16条 使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき、又は第7条第1項の許可を取り消されたときは、直ちに施設を原状に回復しなければならない。

- 2 市長は、使用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置を採るべきことを命ずることができる。

(損害の賠償等)

第17条 博物館の建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させた者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事情があると認めるときは、その賠償額を減額し、又はこれを免除することができる。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- (経過措置)
- 2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理運営に関する条例(平成8年但東町条例第21号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(観覧料の特例)

- 3 第5条の規定は、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間においては、合併前の出石郡但東町の区域に居住する者が博物館を観覧するときは、適用しない。

附 則 (平成19年12月26日条例第66号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。
- (経過措置)
- 2 この条例による改正後の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例別表第2の規定は、この条例

の施行の日以後に使用許可を受ける者の使用料について適用し、同日前に使用許可を受けている者の使用料については、なお従前の例による。

附 則 (平成26年3月28日条例第8号) 抄
(施行期日)

- 1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年3月27日条例第14号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (令和元年12月25日条例第26号)

(施行期日)

- 1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正後の豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例の規定は、この条例の施行の日以後に許可を受ける使用について適用し、同日前に許可を受けている使用については、なお従前の例による。

別表第1（第5条関係）

| 区分 | 観覧料（1人1回につき） | | 備考 |
|--------|--------------|----------|--|
| | 個人 | 20人以上の団体 | |
| 一般 | 500円 | 400円 | 「一般」とは学生、中学生又は小学生以外の者で、15歳以上のものをいい、「学生」とは大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。 |
| 学生 | 300円 | 240円 | |
| 小学生中学生 | 250円 | 200円 | |

別表第2（第7条、第11条関係）

| 区分 | 使用料 | | |
|----------|---|--------------|---------------|
| | 午前9時から午後零時まで | 午後1時から午後5時まで | 午後6時から午後10時まで |
| 企画展示室 | 1,600円 | 2,100円 | |
| 体験交流室 | 1,300円 | 1,700円 | 1,700円 |
| 天幕住居（ゲル） | 1基につき5,300円 | | |
| 備考 | 冷暖房を使用する場合は、この表に規定するそれぞれの額の3割に相当する額を加算する。 | | |

11. 施設概要

(1) 本館建設概要

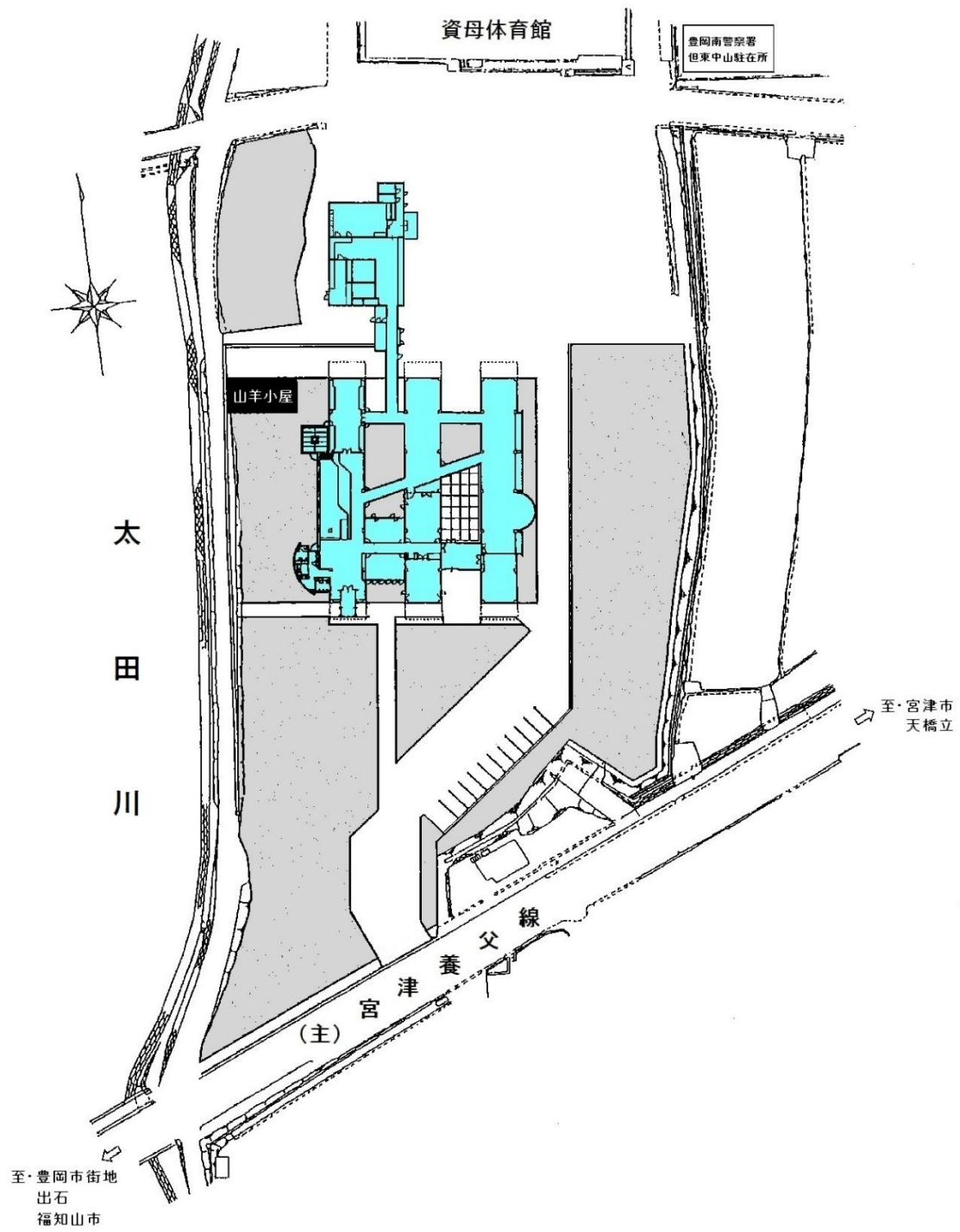
| | |
|------|---|
| 位 置 | 兵庫県豊岡市但東町中山711 |
| 基本設計 | 建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう |
| 実施設計 | 建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう |
| 工事施工 | 建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体 展示 株式会社さんよう |
| 工 期 | 建物 着工 平成7年12月14日 竣工 平成8年8月12日 展示 着工 平成8年5月7日 竣工 平成8年10月30日 |
| 敷地面積 | 10,402.84㎡ |
| 建築面積 | 999.65㎡ |
| 構造概要 | 鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦葺葺 立体トラス鉄骨 (KTトラス) |
| 各室面積 | 玄関ホール・たんとうの森/211.6㎡、収蔵庫1/54.6㎡、収蔵庫2/56.5㎡ 荷解室/33.3㎡、応接室/28.0㎡、事務室/33.3㎡、資料整理室/48.2㎡ 展示室「アジアの歴史」/75.7㎡ 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」/206.8㎡ 展示室「チベット仏教」/37.7㎡ 企画展示室/74.4㎡ シルクロード回廊1/13.3㎡、シルクロード回廊2/13.3㎡、シルクロード回廊3/12.6㎡、シルクロード回廊4/12.6㎡ |

| | |
|-------|---|
| 建物規模 | 平屋建て/東西41.8m、南北42.5m 地上高9.0m <外装>複層吹付 |
| 仕 上 げ | <内装>床/モルタル下地タイルカーペット貼 壁/山本窯業化学テラックス、石膏ボード、化粧合板 天井/杉小幅板、岩綿吸音板貼 |

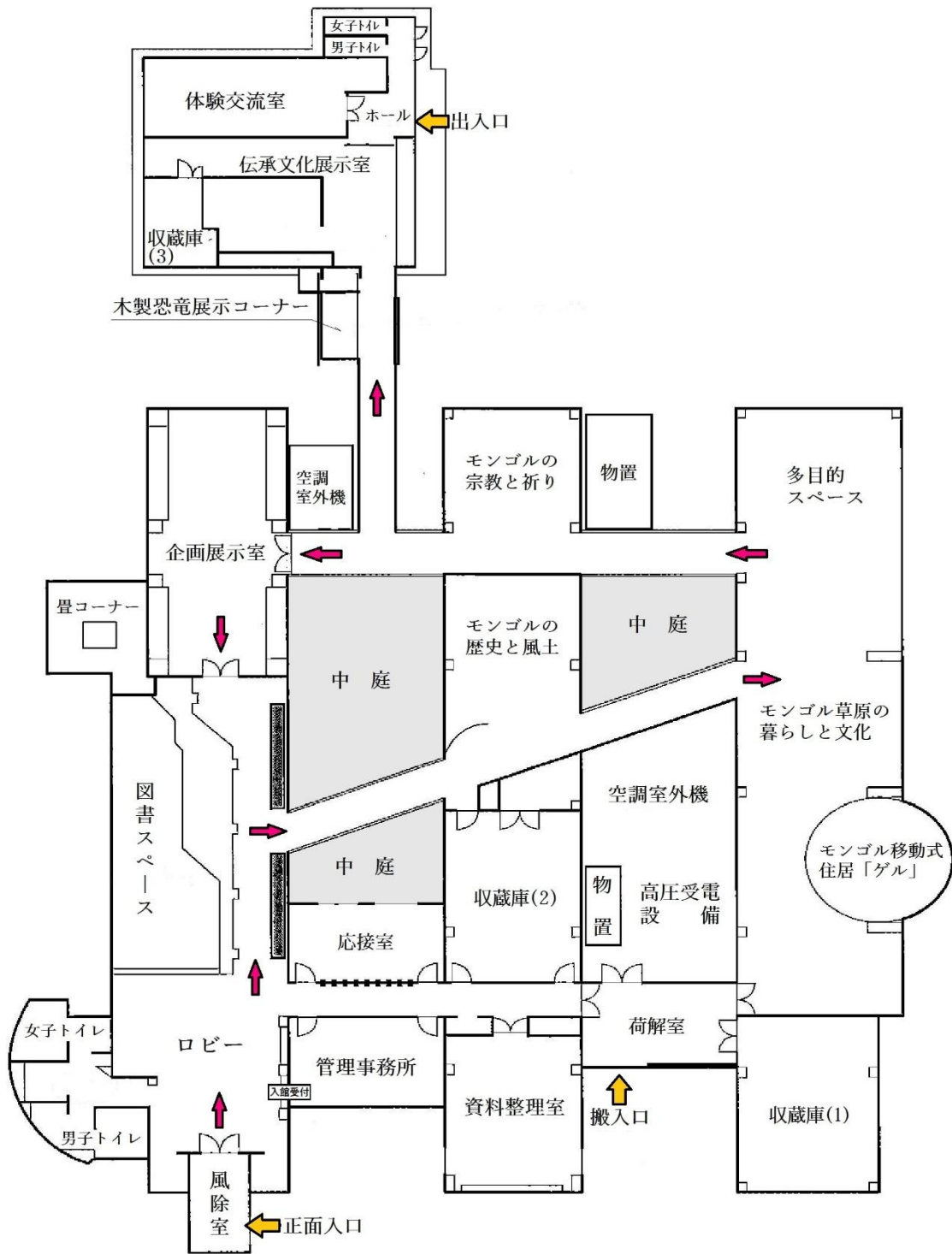
(2) 伝承文化体験交流館建設概要

| | |
|-------|---|
| 位 置 | 兵庫県豊岡市但東町中山711 |
| 基本設計 | 建物・展示/井上良一建築設計事務所 |
| 実施設計 | 建物・展示/井上良一建築設計事務所 |
| 工事施工 | 建物/株式会社マルテン 展示/株式会社ナギサ建築工芸 |
| 工 期 | 建物・展示/着工 平成11年9月14日 竣工 平成12年3月29日 |
| 敷地面積 | 317.57㎡ |
| 構造概要 | 一部鉄筋コンクリート造、木造瓦葺 |
| 各室面積 | 体験交流室/62.6㎡、展示室「豊岡市たんとうの暮らしと文化」/112.5㎡、シルクロード回廊5/36.4㎡、収蔵庫/27.2㎡ |
| 建物規模 | 平屋建て/東西12.8m、南北21.2m 地上高7.1m |
| 仕 上 げ | <外装>押出形成セメント板 <内装>床/モルタル下地タイルカーペット貼 壁/ビニルクロス貼、一部杉板貼 天井/化粧PB貼、一部杉板貼 |

(3) 配置図



(4) 館内図



12 交通案内



豊岡駅からバスで約 60 分 出石で乗り換え(奥藤行き)

モンゴル博物館前下車

■お車で

大阪・神戸方面…舞鶴若狭自動車道 福知山 IC から約 55 分

京都方面…京都縦貫自動車道～宮津与謝道路 与謝天橋立 IC から約 25 分

姫路方面…播但連絡道路～北近畿豊岡自動車道 八鹿氷ノ山 IC から約 45 分

13 利用案内

■開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

■休館日 水曜日(水曜日が祝日の場合は翌日)

年末年始(12月28日～1月4日)

展示替えのため臨時休館あり

■入館料 一般 500円(400円)

高校・大学生 300円(240円)

小・中学生 250円(200円)

※()内は20名以上の団体の場合

※障がい者手帳をお持ちの方は各料金の半額

※兵庫県内の小・中学生は、ココロカードの提示により無料

豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報第 24 号

Annual Report of the Japan Mongolia Folk Museum
No.24(for the fiscal years of 2022)

2023 年 3 月 31 日発行

編集・発行 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館

〒668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山 711

TEL 0796-56-1000 FAX 0796-56-1022

<http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

e-mail monpaku@city.toyooka.lg.jp